

気比の松原 100 年構想
(気比の松原保全対策事業 報告書)

— 目 次 —

はじめに

第 1 部 気比の松原の姿

1 気比の松原の概要.....	1
2 気比の松原の林況.....	7
2.1 現地調査の概要.....	7
2.2 現地調査の結果.....	9
3 気比の松原の自然環境.....	40
4 気比の松原をとりまく社会環境.....	42
5 気比の松原の維持管理の状況.....	45
6 気比の松原を維持するための課題.....	49

第 2 部 気比の松原 100 年構想

1 気比の松原の整備目標.....	51
1.1 気比の松原の整備管理の基本方針.....	51
1.2 保全・再生のゾーニング.....	52
1.3 整備内容と管理手法について.....	54
2 保全管理方針及び管理手法.....	59
2.1 保育管理.....	59
2.2 保護管理（松くい虫防除）.....	60
2.3 後継マツの育成.....	62
2.4 施設整備及び維持管理.....	67
3 気比の松原の管理体制.....	72
3.1 管理・連絡の体制.....	72
3.2 役割分担.....	73
3.3 許認可について.....	74

■ 引用・参考資料

■ 資料編

■ 気比の松原保全対策事業検討委員会

■ 協力者一覧

■ 気比の松原 100 年構想シンポジウム

コラム

- ◆ 気比の松原に伝わる伝説 (p. 3)
- ◆ 気比の松原に生える“要注意外来生物” (p. 35)
- ◆ 白砂青松 (p. 51)
- ◆ クロマツ、アカマツの特性 (p. 52)
- ◆ 天敵による駆除 (p. 61)
- ◆ マツとキノコ (p. 63)
- ◆ 苗の種類とルーピング (p. 66)
- ◆ 植生遷移とマツ林 (p. 68)

はじめに

気比の松原は、福井森林管理署が管轄する国有林で、日本三大松原の一つとして、名勝、若狭湾国定公園、レクリエーションの森等に指定されています。地域においては住民の生活環境等の保全のみならず、文化遺産、観光資源、森林散策の場等としても重要な位置づけとなっています。

しかしながら、近年、松くい虫被害や林地の高密度化等によりマツが衰退しつつあり、防災林機能及び景観の低下が危惧されています。

そこで、気比の松原が担う公益的機能の発揮や、景観形成の視点も踏まえて後世に引き継ぐべき貴重な財産として、松原の適正な保全管理に資することを目的とし、気比の松原保全対策方針を作成することとしました。

この報告書は、「気比の松原 100 年構想」として、これまでの松原と今の松原の様子を調査分析するとともに、今後の松原の姿の“ビジョン”とビジョン達成のための具体的な方法を取りまとめました。今後も地元市民にとって、また国の財産として、気比の松原が私たちの誇れる松原に維持されることを願っています。



手彩色絵葉書「松原公園」
(明治末～大正初期)



気比の松原（平成 24 年 9 月撮影）